

リン脂質分析報告書

シリアル番号 XXXXXxx
管理番号 SIID 00000
作業完了日 202x 年 xx 月 xx 日
発行日 202x 年 xx 月 xx 日

極秘資料

本報告書の使用にあたっての確認事項

1. 本報告書は株式会社テクノスルガ・ラボ 技術責任者による承認済みです。
2. 研究発表（論文投稿）や特許明細書への転用を除き、本報告書の一部または全部をそのままあるいは改変して第三者へ転用などされた場合には、株式会社テクノスルガ・ラボは一切の責任を負いかねます。
3. 当社受託サービス等は、試験・研究用途を目的として販売しております。当社受託サービスを医療や臨床診断などの試験・研究目的以外へご使用される場合、これに起因する損失・損害等については、当社では一切の責任を負いかねます。

技術責任者

印

株式会社テクノスルガ・ラボ 研究センター 技術部

〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 388 番地の 1

TEL : 054-349-6211 FAX : 054-349-6121

Mail : tsl-contact@tecsrg.co.jp

目的

検体に含まれるリン脂質の分析を行います。

方法

1. 培養条件

以下の条件で培養を行い、培養後の菌体を生理食塩水で洗浄しながら回収し、凍結乾燥して分析に用いました。

- ・ 培地 CM3:普通寒天培地(Nissui Pharmaceutical, Japan)
- ・ 培養温度 30°C
- ・ 培養時間 72 時間
- ・ その他条件 好気培養

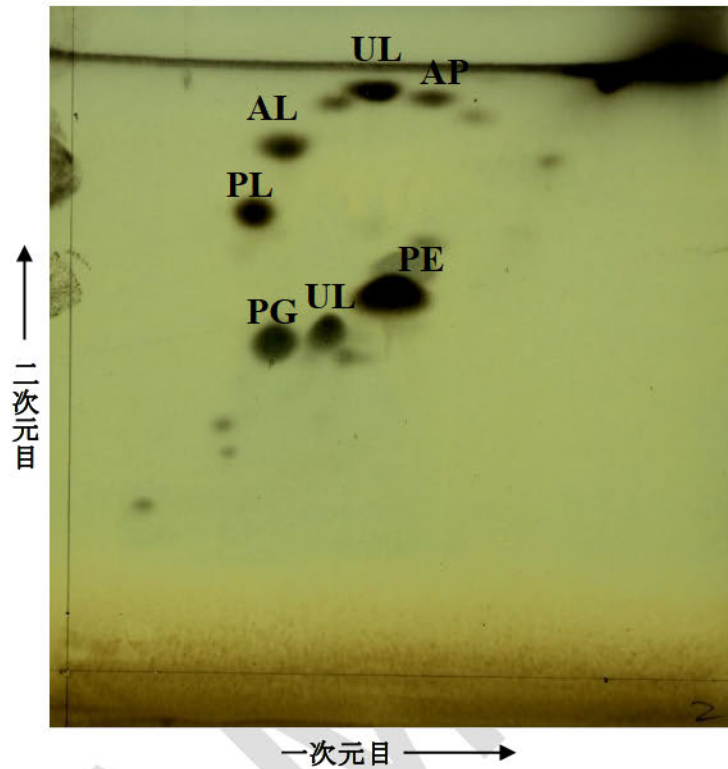
2. リン脂質分析

リン脂質の抽出、二次元 TLC によるリン脂質の分析、呈色反応、分子種の決定は主に Mimmikin¹⁾ 及び工藤^{2),3)}の手法に準拠し、薄層クロマトグラフィー (UPTLC) プレートを用いて分析を行いました。UPTLC 上の各スポットの同定は、スポットの位置と呈色試薬に対する発色性によって行います。

* 会社名、製品名は一般に各社の日本および各国での商標または登録商標です

結果

リンモリブデン酸により呈色した全極性脂質の展開像と各スポットの同定結果を示します。



SIID	主要な成分	マイナー成分
00000	PE: phosphatidylethanolamine PG: phosphatidylglycerol DPG: diphosphatidylglycerol	AL: Unknown Amino lipid UL: Unidentified polar lipid AP: Unknown aminophospholipid

本報告書に付随する電子データ一覧

データ内容	形式
画像	JPEG

補足

本報告書に関するご質問等につきましては、株式会社テクノスルガ・ラボ 技術部までお問い合わせください。

引用文献

- 1) **Minnikin DE, Collins MD, Goodfellow M.** Fatty acid and polar lipid composition in the classification of *Cellulomonas*, *Oerskovia* and related taxa. *J Appl Bacteriol* 1979;47:87-95.
- 2) **工藤卓二.** リン脂質. 鈴木健一郎, 平石 明, 横田 明編. *微生物の分類・同定実験法*. 東京: シュプリンガー・フェアラーク東京; 2001. pp. 135-144.
- 3) **工藤卓二.** リン脂質分析法. 日本放線菌学会編. *放線菌の分類と同定*. 東京: 日本学会事務センター; 2001. pp.66-72.